



議会だより  
No.180  
令和2年11月号

# 選挙後の初議会が開催されました

議会だよりは  
こちらからも  
Check!



会議録の一覧  
はこちらから



## 11月号の主な内容

- 新たな議会構成…………… 2 P～ 3 P
- 一般質問…………… 4 P～ 9 P
- 常任委員会所管事務調査…………… 10 P～ 13 P
- 審議結果…………… 13 P
- 議会日誌・編集後記…………… 14 P

# 議会の構成を お知らせします

蘭越町議会議員補欠選挙後の初議会である第5回蘭越町議会臨時会が、令和2年11月2日に開会されました。新たな議会の構成について、お知らせいたします。



**富 樫 順 悦 (5期)**

議席番号：11

党派：無所属

- ・ 議長
- ・ 総務文教常任委員
- ・ 後志広域連合議会議員



**熊 谷 雅 幸 (6期)**

議席番号：10

党派：無所属

- ・ 副議長
- ・ 経済建設常任委員
- ・ 議員会会長



**柳 谷 要 (8期)**

議席番号：9

党派：日本共産党

- ・ 総務文教常任委員
- ・ 監査委員
- ・ 消防委員
- ・ 議員会監事



**赤 石 勝 子 (3期)**

議席番号：8

党派：無所属

- ・ 経済建設常任副委員長
- ・ 議会運営委員長
- ・ 表彰審議会委員



**難波修二**（2期）

議席番号：7  
党派：無所属

- ・総務文教常任委員長
- ・議会運営委員
- ・後志教育研修センター組合議会議員



**向山博**（2期）

議席番号：6  
党派：無所属

- ・総務文教常任副委員長
- ・議会運営委員
- ・南部後志環境衛生組合議会議員
- ・消防委員
- ・表彰審議会委員
- ・議員会副会長



**永井浩**（2期）

議席番号：5  
党派：無所属

- ・経済建設常任委員長
- ・議会運営副委員長
- ・羊蹄山ろく消防組合議会議員
- ・消防委員
- ・表彰審議会委員



**田村陽子**（1期）

議席番号：3  
党派：無所属

- ・経済建設常任委員
- ・議会運営委員
- ・消防委員
- ・議員会理事



**金安英照**（1期）

議席番号：2  
党派：無所属

- ・総務文教常任委員
- ・羊蹄山ろく消防組合議会議員
- ・消防委員
- ・表彰審議会委員



**淀谷融**（1期）

議席番号：1  
党派：無所属

- ・経済建設常任委員

# 令和2年第3回定例会

9月の定例会では5人の議員が一般質問しました（内容を要約してお知らせします）。



## 一般質問



### 前年度繰越金の使途について

**難波 修一議員** 令和元年度決算では、剰余金の実質収支額が約3億2,700万円となりました。

過去4年間も毎年3億円を超える繰越金を出しており、国庫補助金の活用や有利な起債の発行など適切な財政運営に努めていることに敬意を表します。

現在の前年度繰越金の額は5,161万円となっていますが、地方財政法の規定による積立等と併せて、本年度はコロナ対策をはじめ新規事業も多くありますので、それらへの対応も含めて使途についての考えを伺います。

**金町長** 決算剰余金は、地方財政法第7条で、剰余金の2分の1以上を積立てるか、地方債の繰上償還の財源に充て、将来における財政運営の健全性を確保しなければならぬという規定があり、今年度は、今後の補正等の調整財源として約8,500万円程度を留保することとし、基金については、

当初予算で約3億円を取り崩していることから、今回の補正予算に計上しています。

コロナ対策に係る多くの事業を実施しているところですが、今後必要な事業は、第6次総合計画及び個別施設計画等、各計画に沿いながら、当初予算で基金の活用も含め財源確保を行い、着実に事業を推進したいと思えます。

**難波議員** 前年度繰越金は、決算で3億2,000万円ほど実際にありますが、今年度の前年度繰越金は、今回の補正で減額されて3,700万円になっています。

**金町長** この差引きの2億9,000万円をどのように使われていくのか、基金の積み増しや繰上償還、今後のための財源留保は大事ですが、大変大きな留保がありますので、できるだけ予算の中に計上して費消していくことが必要ではないかと感じているところです。

債が、例年約95%の充当率のところ、一次配分で約75%の充当にしかならず、約2億円の財源不足となっている状況です。

各方面に要請をしていますが、今後、過疎債が二次配分である程度充当されることになれば基金に積み、次年度に向けて事業化を図ることも含めて、現在検討している状況です。

**難波議員** 過疎債の充当率が下がるのではということは初めて聞きましたが、非常に大変なことです。

国に強く要望し、二次配分でカバーできるように、しっかりとやってほしいと思えます。

産業振興や観光開発など、新たな展開が期待できる分野への投資や体制整備なども念頭に置き、今後の繰越金の使途について検討していただきたい。

**金町長** 産業振興等については、重要であると認識をしているところです。

各団体も含め意見を聞き、何が望まれているのか、職員共々、十分検討をしながら、進めていきたいと考えています。

## 蘭越市街地の国道改修の要請について

難波議員

蘭越市街地の国道5号線について、以前より地域住民の方々から強い要望を寄せられていますので、改修工事の早期実施を開発局に働き掛けていただきたい。

1点目、街の茶屋前は国道の最鞍部であり、路面水と地下排水が1箇所集中し、国道一面が冠水状態になります。

交通安全上非常に危険であり、また、冠水が民地に流れ込むため、町道に砂利が堆積して通行に支障を来します。

2点目、小学校前の坂について、改良舗装工事をして以来、路面の損傷が激しく、穴が開くたびに小規模の補修を行っています。

路面全体がでこぼこのいびつな状態で、大型車両が通行する時の騒音、振動は激しいものがあることから、抜本的な路面改良を実施していただきたい。

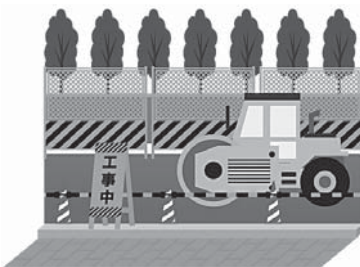
金町長

1点目、倶知安開発事

務所からは、大雨になると排水管の容量を超えてしまうことが原因ではないかとの説明があり、今年度中に現地調査及び設計業務を行い、来年度以降に工事の対応方針を固め、早期の工事実現に向けて準備を進めていくと回答を得たところです。また、必要に応じ、後志総合開発期成会等を通じて要望していきたいと考えています。

2点目、今年4月に小樽開発建設部倶知安開発事務所にお話ししたところ、

降雪の前に全面補修するとのこと  
で、担当者から確認させたいところ、  
9月下旬から10月中旬の予定で車道表層部幅員11メートル、延長200メートルの切削を行い、全



面的な路面改良、新たな舗装の敷設を実施するというところで回答を得ております。

難波議員

パトロール業者の方は非常に熱心に取り組んでいますが、業者では対応できない面もあるようです。

いずれも早急に取り組みられるということ、了解をさせていただきたいと思います。

気象庁の降水量のデータを調べてみたところ、2週間程度の間に1時間あたり30ミリを超える雨が4回起きており、その事は大変だと感じています。

行政報告にもあったように、夜中の雨で大洪水になり大変だったと14町内の話もお聞きしました。

住民の方々の不安解消のために、どこに原因がありどのように対応すればよいのかを説明し、理解をしていただいたうえで、これから改修に臨んでほしいと思います。今回の質問とは離れますが、そういう要請が聞こえておりますので、その点について伺います。

金町長

今回、冠水した場所については、私も次の日に住民の話聞き現場を見ってきましたが、土砂が側溝の中や町河川に溜まって

いるのが見受けられました。

土砂の堆積や流木、草等も含め除去することにより、流れがスムーズになることで、少しでも不安から解消されるのではないかとすることも町民の方と話し、早急にかつこのことはやりたいというお話をさせていただきました。

職員に指示をして、町でできる部分、早急にできる部分について、補正予算で対応させていただきたいと考えた次第です。

大規模に改良等していかなければならない部分についても、できる所からやり、長期的な視点で改良等をしていく、今回の水対策についても、終わったからそれではないということではなく、少しでも手を付けるというようなことを、職員共々打合せをさせていただいたところです。

町民の方々が安心安全で暮らしているということが第一ということでも考えていますので、その中で少しでも事業ができればと検討しているところです。

難波議員

ぜひ、きめ細かな対応をお願いしたいと思います。



## 景観条例について

**熊谷 雅幸議員** 蘭越町では、平成17年度に「蘭越町こぶし咲くふるさと景観条例」が制定され運用されています。

その後、近隣の町村では、海外資本の高層ホテルなどが進出したり、携帯電話の支柱が建設されたりと、地域の情景は大きく様変わりしてきました。

景観に配慮すべき地域においては、ある程度の高さや、景観に影響を与える構築物に対して、建設前に審議する組織などをつくり、今後の地域づくりに役立つのかを考えていくことも必要と考えます。また、町がどのような形で発展していく事が望ましいのかを十分考え、条例などを整備していく必要があると思います。考えを伺います。

**金町長** 北海道では、平成20年に北海道景観条例を制定し、一定の基準を超える建築物や開発行為を行う場合には、事前に知事への

届出が必要となり、本町を含む羊蹄山ろく町村は、道内で唯一、羊蹄山麓広域景観形成推進地域に指定され、建築等の規制や景観配慮規制が、他の市町村に比べ、厳しいものとなっております。

今後も一定の基準を超える建築物や開発行為を行う場合には、道条例等に基づく開発行為の規制等の適用を受けつつ、町独自の開発事業等の適正化、規制として、事前景観調査、蘭越町環境審議会での審査などの必要な事項を定めるため、蘭越町こぶし咲くふるさと景観条例の見直しを検討することも、蘭越町環境審議会の意見等をいただきながら、今後の地域づくり、町の将来の発展を見据えなが



ら景観に配慮していきたい。

**熊谷議員** ここ数年を見ますと、道条例があったにも関わらず、相当高層な建物が建設されています。

建設を予定する会社には、最低でも建設に対して、地域住民や現識者などのグループによる審議なり会議は必要だと思えます。

加えて、住民説明会を要すると判断される事案においては、事前審議なり会議の開催について、条例の附則も必要かと思えますが、どのようにお考えか伺います。

**金町長** 北海道が景観条例を制定し、羊蹄山麓景観地域は届出を含め開発行為の規制をしていることから、蘭越町こぶし咲くふるさと景観条例からその部分を削除し、現在は、北海道から蘭越町に届出に対しての意見を求めてきている状況となっております。

議員からご指摘ありましたので、本町の条例については、改正していきたいと考えていますので、内部で十分調査、検討した中で取り進めていきたい。

**熊谷議員** 道条例による高さ10メートル以上の規制は、10メートルまでは無条件で権利を与えてし

まいかねないという懸念があると指摘されています。

10メートル以下の構築物についても、景観を損ねる恐れがある場合は、審議の対象となり得ることも必要であると考えますが、この点について伺います。

**金町長** 条例改正にあたっては、環境審議会という組織がありますので、10メートルの高さ制限も含め、意見を聞きながら進めていきたい。

**熊谷議員** 町長の執行方針にありましたが、蘭越らしい発展ということは、私もそれに賛成ですが、どのような方向がいいのか町の考えを出して、今後の在り方を考えていかなければならないかと思えます。

**金町長** 蘭越町は、二七〇連山はじめ、尻別川等、豊かな資源を豊富に持っていますので、そこを崩すような行為というのは景観に配慮した中で行っていかなければならないと思っています。

役場内部や様々な団体のご意見を聞きながら進めていきたいと考えています。



# パークゴルフ場サーモンコース 閉鎖後の活用について

**赤石 勝子議員** パークゴルフ

場サーモンコースは、以前他町村の方の利用も多く、大変賑わっていました。年々利用者も減り、今年から閉鎖しました。

今後は、あのままの状態にしておくのか、それとも何か別の形で活用する考えがあるのか伺います。

**金町長** 豊国橋付近から尻別川

河川敷地の左岸は、平成7年5月27日、尻別川リバーサイドパークゴルフ場としてオープンし、通称サーモンコースとして、パークゴルフ愛好家から長年愛されてきました。競技人口の減少とともに利用者が年々減少し、また、散水施設もないことから芝の状態も悪くなり、維持管理にも苦慮している状況でした。

このため、蘭越町パークゴルフ協会及び河川管理者の小樽開発建設部と協議のうえ、昨年度の町政懇談会において町民へ周知を行い、今年度から休止という運びとなり

ました。

パークゴルフ場跡地の利活用については、河川管理者の小樽開発建設部が中心となり、平成30年度から尻別川の河川空間を利用した地域活性化について議論する、尻別川かわづくりワークショップを役場、商工会、NPO法人などのメンバー十数名との意見交換を年数回行い、様々な意見等があると伺っていますが、この場所は、出水時には洪水が流れるところですので、洪水時の流水の障害とならない整備が求められています。

こうした河川敷地という制約の中で、子供たちが安心して遊べる空間、家族で一緒に楽しめる環境整備を望んでいるところであり、まだ検討の途中ではありますが、尻別川河川敷地は治水のみだけではなく、地域の憩いの場所や、観光資源としても十分ポテンシャルの高い場所と認識していますので、引き続き、関係機関と協議を重ね、

議員からも御意見・御要望を頂戴しながら、できるだけ早い時期に方向性を決定していきたいと考えています。

**赤石議員** 家族連れで釣りを楽しんだり、ウォーキングをしたりと町内外の方も多く見受けられます。

今年はこの影響でアウトドアと言いますか、キャンプ場はとも賑わっていました。が、河川敷にキャンプ場を作るという考えはないか伺います。

**金町長** 河川敷地内でキャンプ場が可能かどうかについて、小樽開発建設部と協議をしていかなければならないと考えているところですが、河川敷地内の堤防から中の方にしましては、固定したものは設置できず、動かせるものでないところだと思っています。

尻別川は蘭越町にとって、素晴らしい財産であると考えていますし、今後どのようにしていくことが皆さんに喜ばれるのかということ



とを十分検討したい。

**赤石議員** ぜひそういう方向で進めていただきたいと思いますし、町内会が集い、バーベキューや花見などを楽しめる憩いの場として整備するのも良いかと思えます。

皆さんに喜ばれるような利活用を考えていただきたいと思います。

**金町長** 議員が提案されたバーベキュー施設も含めて内部で検討したいと思いますが、その維持管理関係なども考えていかなければならないと思っています。

私は、蘭越でも家族連れが多く訪れる場所だと思っていますので、もう少し遊具など含めて整備ができないかということも、今検討しているところです。

いずれにしても、パークゴルフ場の所をそのままではおけませんので、シヨギングコースや芝がまだけいからです、その芝を活用して何かできないか、皆さんからも提案をいただながら進めていきたいと考えています。



## 本町における避難所用品の現状について

**永井 浩議員** 令和2年9月7

日北海道新聞朝刊一面に、マスク・消毒液・間仕切り・段ボールベッドの4品とも不足、57自治体とあり、4品目いずれも想定必要数を備えていない市町村に蘭越町も含まれています。

想定必要数の決め方は、避難所の数や要支援者の人数から導く方法がありますが、どう算出するかは市町村に委ねると記事にありました。

本町における実情と今後の方針について伺います。

**金町長** 想定避難人数について、蘭越町防災備蓄計画の行政備蓄では、人口の35%の約1,600人を対象としています。北海道において、感染症対策に必要なマスク等の物資・資材を相当数備蓄しており、災害時には、市町村からの依頼がなくても支援する制度、プッシュ型をもって、町へ配備されることとなっていますので、人

口の約10パーセントの500人を感染防止に係る想定必要人数としたところです。

その上で、想定必要数の算出方法ですが、一例を上げますと、マスクについては、想定必要人数に対し一人10枚の5千枚、運営スタッフ用と予備用として5千枚とし、合わせて1万枚を想定必要数としています。

また、間仕切り、パーテーションについては、250張を想定必要数量としていますが、既に100張については、防災備蓄計画に基づき購入していますので、残りの



150張を含め、消毒液、段ボールベッドほか、感染症対策に必要な物資・資材も含めて、必要数を

地方創生臨時交付金等で整備を進めていきたいと考えています。

**永井議員** 9月11日から12日にかけての大雨による被害は、もう少しで何軒かが床上浸水や床下浸水の被害になるところだったと思います。

その時に一時的にでも避難所を立ち上げられていれば、あの状況にはならなかったと思いますが、迅速に対応できるような体制づくり等は、マニュアル化されているのか伺います。

**金町長** 現在、蘭越町には避難所が38か所あり、蘭越町防災備蓄計画に基づいて、年次的に整備を進めているところです。

避難も必要だということになれば、役場や山村開発センター、消防舎等に一時的に避難させることも検討しましたが、これについては町民の方も大丈夫だということでしたので、避難までは至らなかったという経過です。

ただ、備蓄はどこに何があってもいつ何時に配布しながら対応できるかということが必要です。職員を含め周知した中で進めていかないと対応が遅くなったり、避難された方に不便をかけることにも

なりますので、訓練なども必要だと考えています。

**永井議員** 消防団員を招集する場合は、団員の家庭にある防災無線からサイレンが鳴り、その後携帯電話に招集命令の合図が鳴るといふかたちですが、昔からのサイレンの音というのは、何かあったということでも夜中でもすぐに体制づくりをすることができました。

現在のデジタル化されたサイレン音は、聞こえなかったりするので、災害に対してすぐに対応できるように、もっと町民の方が分かるような体制づくりや周知することはできないものか、研究していたきたいと思います。

**金町長** 災害に対する対応については、消防団や町も含めながら、今後どのような方法がいち早く周知しながら出動できる体制を取ることができなのか、皆さんの意見を聞きながら検討していければと考えています。





## 寿都町の「核のごみ」文献調査への 応募検討に対する蘭越町の未来を 見据えた町長のお考えについて

**田村 陽子議員** 先日、寿都町

が「核のごみ」文献調査への応募を検討しているという新聞報道がありました。

漁業、農業、林業及び観光を町の特色としている我町にとって、大変重大な事と感じており、将来の子ども達や住民にプラスになるとは考え難いというのが、蘭越町民の多くの声だと思えます。

町長として、今後どのように考え、行動されていくのか伺います。

**金町長** 8月24日に私を含む黒

松内町、島牧村の3町村長が寿都町役場へ出向き、今回の文献調査に当たったの対応についての申し入れを文書により寿都町長へ直接渡しています。

文献調査の応募は、町民が安心して安全な生活を送る上で、不安を引き起こすことは否めないと考えており、一次産業や観光への風評被害などの影響で地域の価値やイメージの低下も懸念されます。

寿都町では、各地区の住民説明

会を開催後、応募の最終判断を10月以降に先送りする報道もあるところですが、最終的には寿都町が判断することになります。

現時点での首長として対応、また行動できることは、今時点ではここまでと考えており、今後の動向を静観したいと考えています。

**田村議員** ただ今の町長の答弁

や、8月22日の羊蹄山麓7町村の首長の申し入れにも書いてありますとあり、蘭越町として反対という意思を表明されたということと捉えていいのでしょうか。

その明確な態度を表明した上で、今後の対応なり働きかけができるかと思えますので伺います。

**金町長** 9月1日付で北海道新

聞が行った、高レベル放射線廃棄物の最終処分場選定に関するアンケート調査の中で、蘭越町長の考え方として、文献調査の応募検討に反対であるという回答をしてい

ますので、御理解を願いたい。

**田村議員** 反対という表明を受けたうえで伺います。

今後、風評被害が出た場合の補償の交渉などもやっていくべきだと思えますが、蘭越町なり後志全体としても寿都町に対し、その約束事を明確にすることが蘭越町民を守ることにありますし、町長の役目だと思っています。

そのような行動を、この後される予定があるのか伺います。

**金町長** 現在は、文献調査を行

うかどうか、寿都町としての判断をどうするかという状況ですから、今の段階で今後に関しての答弁は差し控えたいと思っています。

今後の事については、私一人の判断とはなりませんし、議会等も含めながらどういう対応を取っていくべきなのか検討していかなければならぬと考えていますが、今は静観している状況ですので、ご理解を願いたいと思います。

**田村議員** 早急な応募はくれぐ

れも慎重にと、強く申し入れしてもいいのではないかと思いますし、後志の町村で研究施設等がある市町村への視察を行ったうえで、協議など、静観するということに

近隣町村として必要ではないかと思いますがいかがでしょうか。

**金町長** 首長として町民の安心安全を図る、不安を解消しいち早く対応することを、まだ不足かもしれないませんが、私なりに考えているところです。

今回の文献調査については、慎重な対応や協議をして判断をしてもらいたいと、繰り返し言っているつもりですので、状況を見ながら今後の対応を考えていきたい。

**田村議員** 町を二分するような

問題は、町民と行政が話し合いをして、ある程度の方向が出てからでないかと、受けるダメージは大きいと思うので、今後の町の進め方はオープンなものとして進めていただきたい。

**金町長** 今回の文献調査に限ら

ず、町で行う色々な事業について、町民の意見を町政に反映することを、私の政策としてい

ます。そのためには、町民説明会も必要ですが、議会とも十分事前に説明をしながら協議をして進めていきたいということは、私はお約束をしたいと考えていますので、ご理解願います。

# 所管事務調査

## 総務文教常任委員会

◆調査日 令和2年9月4日

教育委員会と税務課、総務課について調査をしました。

### 【教育相談支援員の取組状況】

本年4月から、長年特別支援教育に携わられた退職教員を教育相談支援員として新たに採用し、児童の学習や生活・心理面に不安感を持たれて



への相談業務と、学校での教育支援や担当教員の研修活動に取り組んでおります。

今後は、就学予定児童の言語検査や特別支援教育への支援業務、保護者交流会なども取り組む予定とのことでした。

学校関係者や保護者からの信頼も厚く好評を得ておりますので、

引き続き支援員の活動が充実することを期待いたします。

### 【GIGAスクール校内ネットワーク整備工事の概要】

学校に高速大容量のネットワークと一人一台の端末機器を一体的に整備し、様々な教科の学習活動において子どもたちの多様性と創造性を公正に育むことを目的にGIGAスクール構想が推進されており、本町もネットワーク整備及びタブレットの購入が年度内に完了予定です。

今後、各学校の学習活動に順次活用されることとなりますが、まずは、教師の指導技術向上のための研修を充実させて、どの学年においても児童生徒の力に応じたIT活用の学びを保障できるように、具体的な準備に取り組む必要があると考えます。

### 【学校運営協議会設立準備委員会の概要】

学校と地域住民等が力を合わせて学校の運営に取り組むコミュニケーション・スクールについて、来年度からの導入を目指して準備委員会が活動を進めております。

管内でも多くの町村が既に導入済みですが、学校運営協議会の役

割は、学校の運営方針や教職員人事への意見を述べるなど大変重要ですので、学校現場やPTAへの説明を十分に行って、公平で適切な委員を選出の上、円滑なスタートが切れることを望みます。

### 【蘭越高等学校の今後のあり方についての検討会の概要】

蘭越高校が道立高校として維持することが困難になった際の方向性等について検討する判断材料作成のため、委員会が組織されております。



中学校生徒数の推移や進路動向を考えると、蘭越高等学校の今後について検討することは大変重要であります。

学校設置基準等の関係法令に照らしてどのようなことが可能なのか、生徒の進路希望を最大限に生かす学校にすることはできるのか、関係施設の建設や教職員配置など財政面の検討など、課題を掘り下げて議論するために有効な資

料が作成されることを期待いたします。

### 【固定資産税の状況及び今後の動向】

固定資産税の推移について説明を受けましたが、平成30年度の評価基準年以降に家屋や償却資産の税額が約1千万円増加しております。

今後の動向として、土地は外国人の所有が増加傾向にあること、家屋は新増築の増加や民間賃貸共同住宅の増収が期待できること、償却資産では風力発電施設の増収が見込まれるなどの説明がありました。

反面、増収に伴う地方交付税の減額発生や、将来の並行在来線廃止に伴う償却資産減収などの課題があるとのことでした。

外国人の固定資産所有状況は、土地・家屋合わせて88名と、5年前の4倍強になっておりますが、国外への納税通知も増えており苦勞している状況が伺えました。

今後も、先進町村の取組などを参考にし、円滑な収納業務に努めていきたい。

### 【財政状況について】

令和元年度の決算状況、財政に

関する指標数値、令和2年度の交付税額及び繰越金額、地方債及び基金の残高等について説明を受けました。

本年も約3億2千万円の実質収支がありますので、執行中の事業はじめ今後の事業計画等に有効活用を図るとともに、引き続き適切な財政運営に努められるよう期待いたします。

### 【蘭越町個別施設計画】

平成28年に策定された「公共施設等総合管理計画」の具体的方針である「個別施設計画」について説明を受けました。

令和2年から9年までを計画期間として、公共施設の最適な配置を図り財政負担を軽減するために、施設の更新・統廃合・長寿命化を進めることとなりますが、老朽化が進む施設も数多いので、適切な管理が促進されることを期待いたします。

### 【地域おこし協力隊の取組状況】

本年4月から、新たに定住支援員として地域おこし協力隊員が配置されました。

各種の情報発信やオンライン移住相談などを手掛けており、今後の定住希望者の増加が大いに期待

されます。

移住・定住サポートの状況は、新規転入が2世帯、転入希望者が19世帯おられるようですが、希望者と住宅所有者とのマッチングに苦勞されているようです。

状況のさらなる改善には新たな人材や仕組みも必要との意見もありましたので、定住支援員や移住定住ネットなど関係者と十分協議の上、一層の充実に努めていただきます。

### 【防災監の採用状況】

現在空席となっている防災監については、新たな候補者の選定手続が進められておりますが、町の防災体制の充実と地域の自主防災組織への指導助言などに取り組む上で必要な職席ですので、早期採用に努めていただきたい。

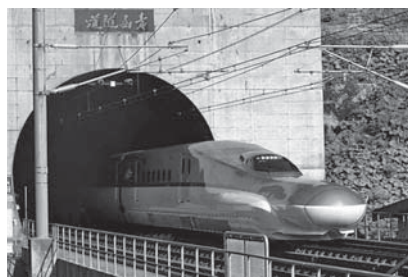
なお、防災監をはじめ関係機関等から招へいしている任用職員の業務推進に当たっては、職場内の適切なコミュニケーション維持が欠かせないと思われ、長らく定着していただき優れた能力を発揮して職務遂行されるように十分配慮すべきとの意見もありました。

### 【北海道新幹線内浦トンネルの工事進捗及び対策土の対応状況】

工事計画に関する住民説明会は、10月10日のため開催できず説明資料の配布のみでしたが、10月下旬の開催が予定されております。

工事は順調に進んでおり、自然由来重金属等の対策土が発生する可能性のある区間について試験を4回行いましたが基準内に収まっております。

今後、万が一対策土が確認された場合は、町への報告と同時に、国の定める対応マニュアルに基づき、専門家による第三者委員会での審査・検討を踏まえて対応策が決定されま



すが、対策土の受入は川上牧場を想定しておりますので、鉄道運輸機構と連携を密にし、不測の事態に備えた対応と確実な安全対策に努めていただきたい。

総務文教常任委員長 難波修二

### 経済建設常任委員会

◆調査日 令和2年9月10日

商工労働観光課について調査をしました。

### 【観光物産協会の法人化の現状と課題等】

現在、自立を目指した経営改善に取り組んでおり、観光協会を法人化する際、あえて「物産」という言葉を社名に入れたことから、観光と物産の販売利益を追求する事業を目指していることがうかがわれます。

その一例として旅行業務取扱管理者を採用し、地域限定旅行業登録を完了させ、着地型観光として町内での旅行パッケージをブランド化した旅行商品を開発したり「街の茶屋」と連携し、地域の独自色を活かした食と観光に関する事業に着手し、特産品のブランド化とイメージアップを図っていることなど、自ら収益をあげる事業が順調に進んでいると感じました。

今後の展開として、新米祭りなど各種イベントを活用した蘭越米のアピールと販売、生産者と連携した農産物の観光的販売、リンリ

ン公園キャンプ場における焚き火台のレンタルや薪の販売などアウトドアに対応した商品開発に取組むなど、販売と情報発信が消費者に直接伝わり、幅広い事業展開が期待されるが、企画立案・現場対応・事務処理と現在の人員体制では負担が大きいと考えますので、今後の課題として早急に対応すべきと考えます。

また、委員からフィッシュアンドン名駒をアウトドア専用フィールドとして活用し、キャンプ場・オートキャンプ場化してはとの意見がありま

した。

施設や野  
外の芝管理  
を含めて、  
観光物産協  
会に任せる



ことで蘭越町の自然環境の観光化を目指した事業として確立できま

すので、御査願います。  
なお、法人化により行政との関わりが「希薄」になるのではないかと

明確にしたうえで、財政支援は必要と考えます。

**【新型コロナウイルスに係る経済支援】**

新型コロナウイルス禍における本町の経済対策に係る申請状況と効果及び今後の経済対策・支援について調査しました。

蘭越町においては、新型コロナウイルス感染症による経済的損失を軽減すべく全国的にも早い段階で対応策を打ち出し、申請から給付までのスピード感も際立っております。

さらには、本町独自の緊急経営対策融資をはじめ振興融資や特別融資など、数々の融資政策事業における申請状況と融資額をみても、政策の効果が一目瞭然で、中小零細企業の多い本町の経済に対して下支えを頂き、感謝するところです。

また、新型コロナウイルス禍における町民の経済状況等の把握のため総合窓口を商工労働観光課に設置し、適切に対応していることについても高く評価できるものです。

相談は数件程度で「税金が払えない」、「失業で所得が無くなる」などとの説明を受けました。

新型コロナウイルス感染症が完全に終息するまで、この状況は続くと思えますし、これから冬期間に向けて、失業される方も予想されますので、総合窓口の存在を広く周知し、最大限活用して町民の不安解消に努めていただきたい。

**【ふるさと納税返礼品開発の取り組み】**

ふるさと納税の推移は、平成20年度の4件、11万円から令和元年度1、1110件、2、522万9千円と確実に伸びており、本町の貴重な財源となっております。

返礼品についても、国の定める規定に基づき本町の特産品である蘭越米を中心とした物品で対応しており、今年新たに高糖度トマト「ソルトーマ」を追加しておりますので、今後も、新たな返礼品の開発や提供する生産者の掘り起こしなどについて、観光物産協会と連携して取り組んでいただき、返礼品の充実が図られることを期待するところです。

**【幽泉閣の経営状況と温泉熱ポイラー】**

コロナ禍の影響で、3月開催の第1回定例会において幽泉閣の売り上げ減少に伴い600万円を減

額補正しましたが、今年度も4月から8月までの累積売上高は6,934万9千379円で前年対比4,241万5千172円減との説明を受けました。

収入減の大きな割合を占める日帰り宴会や会食の呼び込みに新たな企画を考え、収入増に大変努力をしている一方、経費の削減にも取り組んでおりますが、解雇・雇止めなど人件費の削減は行わず従業員一丸となってコロナ禍の苦境に対応することなので、今後とも頑張つてい



いたいただきたいが、幽泉閣は、長年にわたり黒字経営で本町の財政・財源に多大な貢献をした施設であるとともに観光事業の一翼を担っており、町からの財政的な支援も必要と考えます。

温泉熱利用ポイラーについては、現在の足湯の所にポイラー建屋を建設し、そこから浴室設備に接続すること

室からボイラーを解体搬出して施工するよりも約一週間程度の休館ですみ、営業に対する影響を極力少なくすることができるとの説明を受けました。

ただ、多くの方々が利用されている人気の足湯の今後についての具体的な構想・計画について十分配慮されたい。

### 【蘭越ゆめ絆について】

蘭越町まち・ひと・しごと創生総合戦略に「らんこし米」による醸造の可能性とブランド化について調査



研究を行うと定め、平成28年度からプロジェクト会議を組織し、平成29年11月に純米吟醸酒「蘭越ゆめ絆」を発売したところですが、二年度の在庫が310リットル（全製造量の30%）もあり、協議の結果このプロジェクトは中止となりました。

提出された資料には「今後は、取組みに対するノウハウを保全し

つつ、イベント性を持った商品づくりが必要」とありますが、中止となった取組みに対するノウハウを保全したイベント性を持った商品とはどうゆうものか理解できませんでした。

米処蘭越の美味しい蘭越米で造られた酒を売るのか、米処蘭越米宣伝用、名刺代わりのお酒なのか、それとも他にコンセプトがあつたのかを総括し、今後に役立てて欲しいと思います。

近隣町村では酒米に特化し、酒蔵に収めており、とても評判がよくレベルには〇〇産彗星と書かれており、ブランド化された米処の扱いとなっております。

観光と物産は切り離せないものと考えますが、以前、本町に派遣されていた道職員が酒米を担当しておりますので、このような専門家の知識や経験を吸収して、酒米について研究していただき、蘭越ゆめ絆の今後に繋げることを望みます。

経済建設常任委員長 永井 浩

## 審議結果

主な議案の一部の審議結果をお知らせします。

### ◆令和2年8月3日

#### 第4回臨時会

令和2年度蘭越町一般会計補正予算（第5号）

行政通信システム屋外拡声装置修理566万1千円、新型コクナウイルス感染症対策として、蘭越小学校抗菌床シート張替修理外952万円、ホームページリニューアル業務委託料700万円、総合診療所往診車外1,703万7千円など、4,430万9千円の追加、簡易水道事業特別会計繰出金500万円の減など、補正予算総額で5,335万円を追加しました。

### ◆令和2年9月16日、18日

#### 第3回定例会

令和2年度蘭越町一般会計補正予算（第6号）

公共施設整備基金積立金1億

5,000万円、新型コクナウイルス感染症対策として、蘭越中学校暖房設備修理外4,992万7千円、サーマルカメラ外購入623万8千円、昆布温泉病院感染予防対策事業補助金1,000万円など、7,303万6千円の追加、蘭越小学校バリアフリー改修工事962万5千円など、補正予算総額で2億4,485万2千円を追加しました。

令和元年度蘭越町一般会計及び各特別会計歳入歳出決算の認定について

議員全員による決算特別委員会を設置し、審査を行った結果、赤石勝子委員長より認定すべきと報告があり、本会議で審議の結果、一般会計及び各特別会計歳入歳出決算を認定しました。

令和2年度蘭越町一般会計補正予算（第7号）

豪雨災害復旧に係る修繕料998万円など、1,337万4千円を追加しました。

# 議会 日誌

蘭越町議会議員・議長の動き

- |              |                                |              |  |              |   |
|--------------|--------------------------------|--------------|--|--------------|---|
| 8月3日         | 蘭越町議会運営委員会<br>蘭越町議会第4回臨時会      | 8月28日 (倶知安町) | 後志広域連合議会臨時会 (富樫議長)   | 9月18日        | 蘭越町議会運営委員会<br>蘭越町議会決算特別委員会<br>蘭越町議会第3回定例会 |
| 8月6日 (倶知安町)  | 自由民主党北海道第四選挙区支部移動政調会 (富樫議長)    | 9月4日         | 総務文教常任委員会所管事務調査  | 9月25日        | 上半期棚卸調査 (監査委員)                            |
| 8月7日         | 羊蹄山麓町村議会正副議長会議<br>長会議 (富樫議長)   | 9月5日 (倶知安町)  | 長谷川岳総務副大臣への要望会 (富樫議長)  | 9月30日 (札幌市)  | 公的精神科病院等運営補助金継続に関する道議会への要望運動 (富樫議長)       |
| 8月12日        | 蘭越町戦没者追悼式                      | 9月9日 (寿都町)   | 島牧村・黒松内町・蘭越町の3町村議会議長による「核廃棄物最終処分場選定の文献調査」応募に係る寿都町長への申入書持参 (富樫議長) | 10月19日 (帯広市) | 全国市議会議長会基地協議会北海道部会定期総会 (永井議員)             |
| 8月15日        | 蘭越町成人式                         | 9月10日        | 蘭越町議会運営委員会   | 10月13日       | 例月出納検査 (監査委員)                             |
| 8月19日 (9月2日) | 蘭越町一般会計及び各特別会計<br>決算審査 (監査委員)  | 9月10日        | 経済建設常任委員会所管事務調査  | 10月25日       | 例月出納検査 (監査委員)                             |
| 8月20日        | 経済建設常任委員会所管事務調査                | 9月11日        | 例月出納検査 (監査委員)  | 10月27日       | 経済建設常任委員会所管事務調査                           |
| 8月25日 (倶知安町) | 後志町村議会合同常任委員会<br>後志議長会議 (富樫議長) | 9月16日 (18日)  | 蘭越町議会第3回定例会<br>蘭越町議会全員協議会  | 10月29日 (30日) | 定例監査 (監査委員)                               |
|              |                                | 9月16日 (18日)  | 蘭越町議会第3回定例会<br>蘭越町議会全員協議会  | 11月2日        | 蘭越町議会運営委員会<br>蘭越町議会第5回臨時会                 |

## 編集後記

日本気象協会から向こう3か月の予報が発表され、北海道は気温も平年並みが高く、降雪量も平年並みか少ないとのことでした。

生活するには良いのかもかもしれませんが、私の“肌感覚”として、冬のイベント等に大きな打撃があるのではないかと心配しています。また、新型コロナウイルスについても、一向に収束する気配はなく、北海道においても医療供給体制のひっ迫が懸念されるなど、今後の状況が非常に危惧されます。

もうすぐ師走となりますが、コロナに負けず新しい年を迎えていただきたいと思えますし、町民の安心と安全のため、議会も町ともにも万全を尽くしてまいりたいと考えています。

蘭越の美しい自然や豊かな地、そこに住む穏やかな人々で、地域経済を循環させる仕組みと一緒に作ればいいなと感じています。

まずは、私もしばらく遠のいていたスキーを再開しようかなと思うこの頃です。

議会だより編集委員 田村陽子